

彦根市立病院

地 域 連 携

だ よ り

彦根市立病院
〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地
TEL : 0749-22-6050 (代)

問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室
TEL : 0749-22-6053 FAX : 0749-22-6093



いつもありがとうございます

謹賀新年!!

今年もよろしく申し上げます

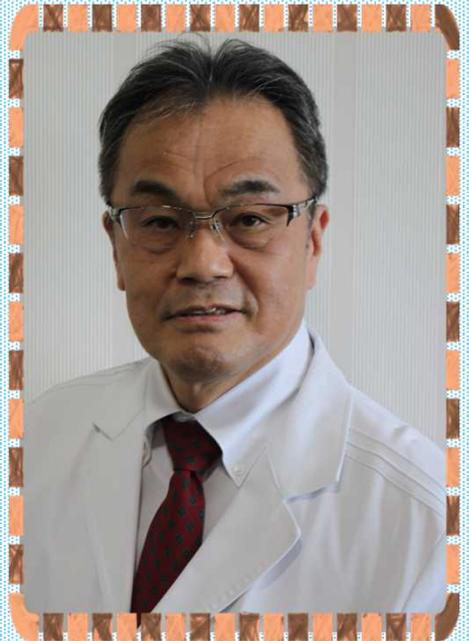


院長 病院事業管理者

金子 隆昭

かねこ

たかあき



新型コロナウイルス禍中ではありますが、謹んでご挨拶申し上げます。

本年で、3回目のコロナ対応の年始を迎えました。当院は、皆様のご支援の下、湖東保健医療圏唯一の公立病院として、感染症対策を行ってまいりました。当院の職員が丸となってここまでやってこられたのは、当院の基本理念にある「住みなれた地域で健康をささえ、安心とぬくもりのある病院」を心に持ち「新型コロナの収束」に向けて当院自慢のチーム医療が最大限の発揮できたことにあると感じています。

また、その間、地域の医師会および連携病院、施設、地域の皆様には、ご理解ご支援を頂き深く感謝申し上げます。コロナ禍において感染症に対応する中でさらに地域と病院の連携が強くなり、お互いの顔の見える連携から「思いやれる連携」となりご支援を受け、特に

第8波を迎えた年末年始には、更なる支援体制を構築頂き病院長として改めまして感謝申し上げます。

コロナ禍においても、脳神経外科の診療体制を強化するために千原部長を迎え、更なる救急医療に貢献することが出来ました。また、地域では、整形外科医の減少する中で、当院では手術対応が可能な体制を維持しました。いずれも救急医療として求められる速さ、正確さを探求してまいりました。

これからは「withコロナ」の時代です。地域医療支援病院として皆様に寄り添い期待に応える事の出来る彦根市立病院にご期待頂ければ幸いです。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

彦根市立病院 地域医療連携室

業務時間：月～金曜日：午前8時30分～午後7時（但し木曜日は午後5時15分）

土曜日：午前9時～午後12時30分

連絡先：地域医療連携室 TEL0749-22-6053(直通) FAX：0749-22-6093

放射線治療・・・!!

～緩和照射をご存じですか～



放射線治療は手術、化学療法と並ぶ、がん治療の一つです。集学的治療として手術や化学療法と組み合わせて行うこともあれば、放射線治療を単独で行う場合もあります。

◆放射線治療のメリット…

- ①手術と異なり臓器の機能や形態を温存しながら治療できること
- ②患者さんの状態により外来通院が可能であること
- ③放射線照射中は痛みを全く感じないこと

また高齢や、全身状態が悪く化学療法の適応とならないような患者さんであっても、放射線治療が適応となることもあり、放射線治療は多大にがん治療に貢献しているといえます。

◆放射線治療の目的…

「根治照射」

がんの臨床的な治癒が目標
総照射回数：15～36回(部位による)
適応：悪性リンパ腫、頭頸部腫瘍、肺がん、食道がん、前立腺がん 等

「予防照射」

再発・転移のリスクの高い部位に対して行う
適応：予防的全脳照射 等

「緩和照射」

対症照射：がんによる苦痛を伴う症状を和らげる照射
姑息照射：病巣の進行の一時的抑制を目的とする照射

「術前・術後照射」

手術成績を改善するために行う照射
適応：乳がん術後照射、直腸がん術前照射、食道がん術前照射 等

今回は **「緩和照射」** をピックアップ!!

「効果」

- ・骨・脊椎転移による疼痛緩和
- ・多発脳転移
- ・気管支圧排による呼吸苦改善
- ・進行がんによる出血に対する止血
- ・上大静脈症候群の改善
- ・食道がんによる通過障害の改善 等

「メリット」

- ・照射放射線量が低い(根治照射と比べて)
- ・照射回数が少ない(約5～15回)
- ・急性期の副作用が起こりにくい
- ・照射部位に再発しても再照射が可能 等

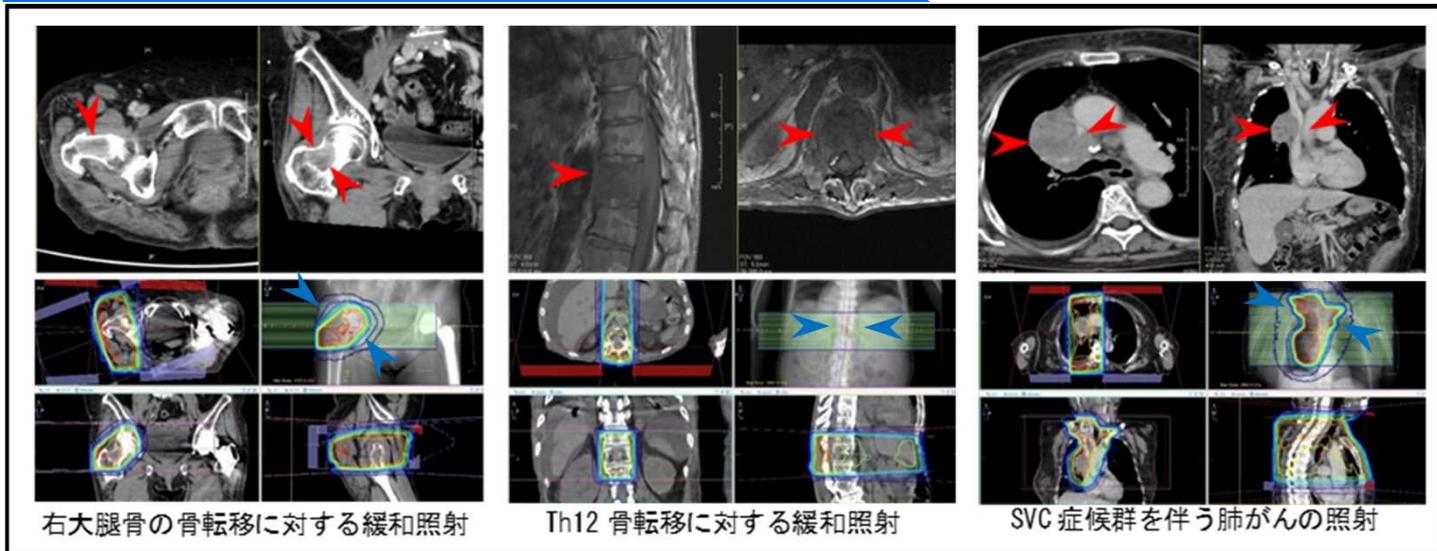
短い治療期間と軽微な有害事象で高率に疼痛の改善や消失が期待できます



放射線治療でQOLを改善!!

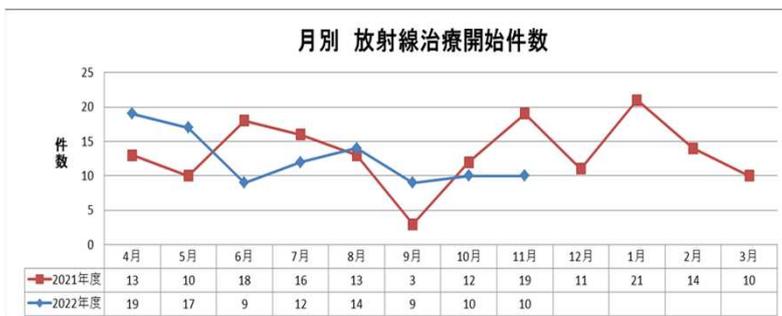
～緩和治療で症状コントロール～

◆放射線治療計画…



疼痛等の原因となっている病巣（図、赤矢印▶）に対して、図下段のように、放射線治療計画用CT撮影で得られた画像から、放射線治療の照射範囲や照射形状（図、青矢印▶）を決定します。図下段の赤～青色で囲まれた線は放射線の線量分布を表しています。

◆当院の放射線治療実績…



		2021年度		2022年度	
緩和照射		46		33 (11月末まで)	
対症照射	姑息照射	32	14	27	6

週2回（火曜日・木曜日）、京都大学医学部附属病院放射線治療科から医師を派遣していただいております。新患・放射線治療患者さんの外来診察を行っています。

◆治療の様子…

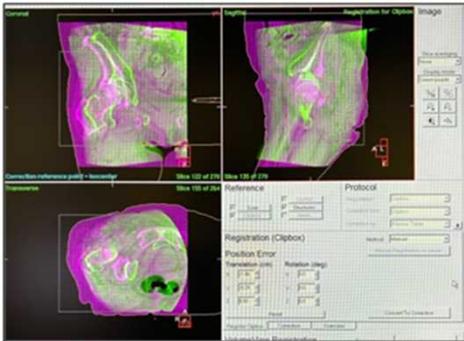
患者さんの体にも書いた線(マーキング)を、放射線治療装置のレーザーと合わせ込みポジショニングを行います。放射線治療の初回は、ポジショニング後にIGRT、Catalyst等を用いてさらに正確な位置合わせを行います。そのため、初回治療時は15～20分ほど時間が掛かりますが、2回目以降は10分ほどで終了します。



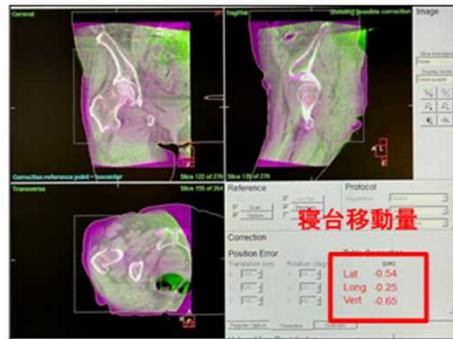
最新機器の導入で 照射位置精度は抜群!!

◆ 画像誘導放射線治療 IGRT...

kV-X線管球とフラットパネル(X線検出器)が治療装置に搭載されており、治療装置上でCT撮影(CBCT)ができます。そのため、1mm単位での位置合わせが可能となり、高精度な位置決めを実現させ、放射線治療を行っています。



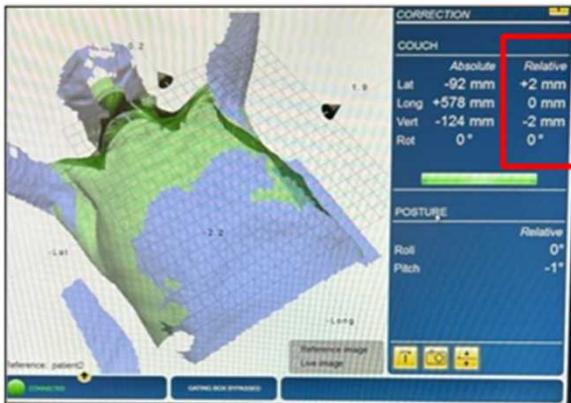
位置補正前



位置補正後

放射線治療計画用のCT画像から取得した元の画像と、CBCTで撮影した現在の患者さんとの画像を合致させるように治療寝台を動かし、位置補正を行います。

◆ 画像誘導放射線治療 IGRT...

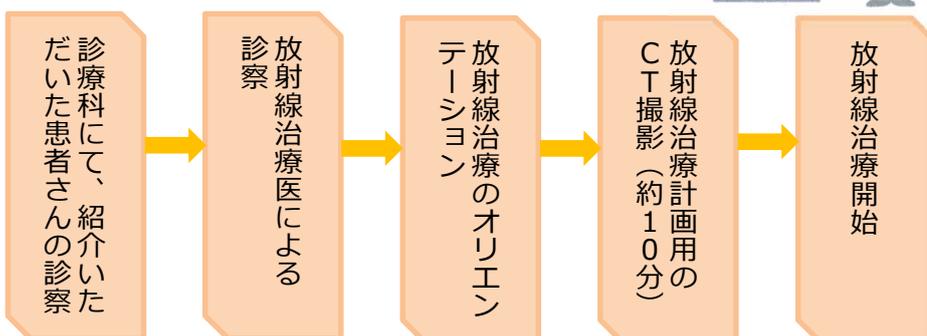


Catalyst (胸部照射中の患者さんの例)

位置ずれの程度

「Catalyst (カタリスト)」は、放射線を照射せずに位置合わせができるシステムです。患者さんの体表面を光学カメラで判断し、左図のように位置ずれの補正を手助けします。赤枠は、放射線治療計画用のCT画像から取得したReference画像と、光学カメラが取得したリアルタイムの患者さんとの位置誤差を表しています。また、放射線治療中にも患者さんの動きをモニタリングできるため、安全に放射線治療を行うことができます。

◆ 治療までの流れ...



※患者さんの状態により、順番を変更する場合があります

**ぜひご紹介を
お願いします!**

放射線治療外来

**毎週：火曜日
木曜日**

**地域医療連携室から
予約が取れます!!**